

Your Success is our Business

～ amg グループ ～

夢、発想、創造。

税理士法人 アミック
株式会社 アミック総研アミック労務管理事務所
アミック行政書士事務所

〒321-0151 栃木県宇都宮市西川田町923-20 TEL: 028-908-4411 FAX: 028-645-1000

『21世紀の資本』

フランスの経済学者トマ・ピケティ氏が先月来日した。東大での講演会も大盛況となったようだ。国会でも安倍総理に対して、民主党議員から格差社会についての質問も多くされていた。今回は「21世紀の資本」の要点を整理してみた。

歴史をみると今までほとんどの時代で財産の成長率が、労働によって得られる賃金の成長率を上回っている。財産の成長率が高いということは、株や不動産を保有している富裕層は、利益を獲得できる。一方労働者は働けど賃金は緩やかにしか上がらず貯蓄したところで大きく増えない。また、技術革新などで、OA化が進めば進むほど最新技術の導入により単純な仕事は無くなってしまう。労働者は職を奪われ富裕層が儲かる。少子化によって、富裕層の子で生まれれば、祖父母や両親の財産も、昔と違い少数の子で財産を分けることになる。裕福な家庭に生まれた子は、さらに裕福になることが約束されている。政府は、相続税や所得税の税率を上げたが、格差が無くなるか疑問を感じる。また、我が国だけが税率を上げて、先進各国が同様に税率を上げていかなければ海外に逃避してしまう。

私見だが、少なくとも子供が教育を受ける権利だけは平等であって欲しい。格差によって教育の機会が阻まれてしまうのはいただけない。機会が平等に与えられた上で、努力して得た財産に差が生まれるのは仕方ない。しかし、働かずとも財産を増やしている層が多いのが問題かと思う。そう考えると勤労所得の所得税率を低くして、不動産などの資産所得との分離課税が良いと思う。

税理士法人 アミック 代表社員 谷中 悟

「まんがでわかる」シリーズ

書店のビジネス書ランキングを見ると、常に上位にランクインしている本があります。それは『まんがでわかる 7つの習慣』です。『7つの習慣』は、スティーブン・R・コヴィー著で1989年に書かれた本です。名著と呼ぶに相応しい内容の本ですが、本を読む習慣があまりない人にとっては読みづらいものです。そこで考えられたのが「まんがでわかる」シリーズです。原著のエッセンスを過不足なく抽出し、主張をゆがめることなく適切に描かれています。また、原著ではわかりづらい部分についてはマンガで、マンガでは伝わりづらい部分は文章でまとめ、きちんと補強されています。

このように、難しい内容であっても、伝え方ひとつで伝わり方は大きく変わってきます。より伝わりやすく、より適切にお客様へ情報を伝えられる方法を常に考えていきたいと思っています。